

満席により、申込みを締め切りました。

CPD : 4 単位

公開研究会

「守口市立 さつき学園（義務教育学校）の開校から現在まで」 — 校舎見学会 & 学校現場、研究者、設計者からの報告 —

近年、全国的に少子化による小、中学校の規模縮小傾向が顕著にみられ、教育活動や学校運営上の問題が顕在化している。さらに、老朽化等による校舎改修、改築の必要性も確認されており、それらを同時に解消し、学校規模の適正化を図る方策の1つとして、「施設一体型小中学校」の設置が増加傾向にある。また一方では、中1ギャップの解消や小中連携による教育活動の効率的・効果的な接続を目途とした小中一貫教育が提唱され、研究開発学校や構造改革特区制度を活用して、教育制度改革を主目的とした「施設一体型小中学校」の設置がみられ、平成28年には「義務教育学校」がスタートした。

公立学校初の「施設一体型小中学校」が開校して10年以上が経過し、運営方式や校舎の計画など多様な取り組みが全国で展開され、成果とともにさまざまな問題点もみられるが、今後も建設が見込まれる。本研究会では施設一体型の義務教育学校 守口市立さつき学園を紹介したい。当日は、学校見学の後、ユーザー側として学校長、建築側からは、研究者および設計者の報告を予定している。最後に、コメンテーターを交えて、計画・設計側とユーザー側の双方の視点から成果と課題を整理し、今後の「施設一体型小中学校」（義務教育学校）の計画に対する示唆を得ることを目的とする。

主催：建築計画委員会 施設計画運営委員会 教育施設小委員会

日時：2018年2月23日（金）12：30～16：30

会場：守口市立 さつき学園（義務教育学校）（大阪府守口市春日町13-26）

<プログラム（予定）>

校舎見学会（12：30～14：10）

交流会（14：30～16：30）

司会・主旨説明：山口 勝巳（主査：東京都市大学） **記録**：藤原直子（九州大学）

主題解説

1. 大野友己（さつき学園校長）：（仮）学校長として
2. 吉村英祐（大阪工業大学）：（仮）研究者として
3. 西村清是（浦辺設計社長）：（仮）設計者として

意見交換 コメンテーター：横山俊祐（大阪市立大学）、倉斗綾子（千葉工業大学）

まとめ：横山 俊祐（大阪市立大学）

参加費：会員2,000円、会員外3,000円、学生1,000円（資料代等／当日会場払い）

定員：60名（申込み先着順）

~~**申込方法**：催し物名称、氏名・勤務先・所属、連絡先電話番号、参加区分（会員、会員外、学生）を明記し、下記までお申し込みください。~~

問合せ：山口 勝巳（東京都市大学） E-mail: yamaguti@ipc.tcu.ac.jp